



平成29年度第1・2回九州厚生局地域包括ケア市町村セミナー

# 地域の特性/実情に応じたネットワークづくり

熊本市高齢者支援センターささえりあ帯山  
(熊本市中央6地域包括支援センター)

# 担当圏域の特徴

熊本市人口:734,719人 高齢化率:23.9% (平成27年10月):熊本市高齢介護福祉課資料より



## ささえりあ帯山圏域の概要

人口	: 40,097人
高齢者数	: 8,791人
高齢化率	: 21.9%
認定者数	: 2,004人
認知症高齢者数	: 1,112人

\* 地域特性として人口密度が過密で世帯数増加中。早くに開発された住宅地と大型マンション建設に新たに住民が転入。利便性の高い地域。

# 高齢や障がいをもっても安心して暮らせる地域を



- ・認知症キッズサポーター養成講座
- ・認知症サポートリーダー養成講座
- ・認知症支援フォーラム
- ・徘徊者捜索・声かけ模擬訓練

- ・認知症事例検討会（学園大）
- ・ソーシャルワーク研修
- ・認知症支援フォーラム
- ・声かけ・通報模擬訓練
- ・認知症介護家族のつどい

- ・学校安心メール登録
- ・支え愛連絡システム
- ・在宅療養医療連携フォーラム
- ・在宅療養連携事例検討会
- ・デスカンファレンス研修

- ・地域ケア共同推進会議
- ・3校区アンケート調査（民児協・75歳以上同居）
- ・先進地視察研修
- ・地域ケア共同推進会議兼学習会
- ・在宅療養検討委員会
- ・ボランティアと高齢者との交流会
- ・座談会
- ・在宅ホスピス/看取り研究会
- ・防災訓練

- ・地域ケア共同推進会議

2011  
（平成23年）

2012  
（平成24年）

2013  
（平成25年）

2014  
（平成26年）

2015  
（平成27年）

熊本市政令都市へ

- さえりあ帯山誕生（帯山校区が担当圏域に）
- 介護保険法改正（第5期）—地域包括ケアシステム構築へ
- 認知症施策推進5か年計画
- 社会保障・税一体改革

- 第2期医療費適正化計画
- 健康日本21（第2次）

- 地域ケア“共同”体制づくり推進協議会発足
- 医療・介護総合推進法

- 認知症施策総合戦略
- 介護保険法改正（第6期）

# 中学校区規模での生活支援・介護予防領域の協議—H26年度 (課題の整理と方針の決定)

各校区社協長、民児協会長  
自治協議会会長

包括／SC

熊本学園大学  
社会福祉学部准教授

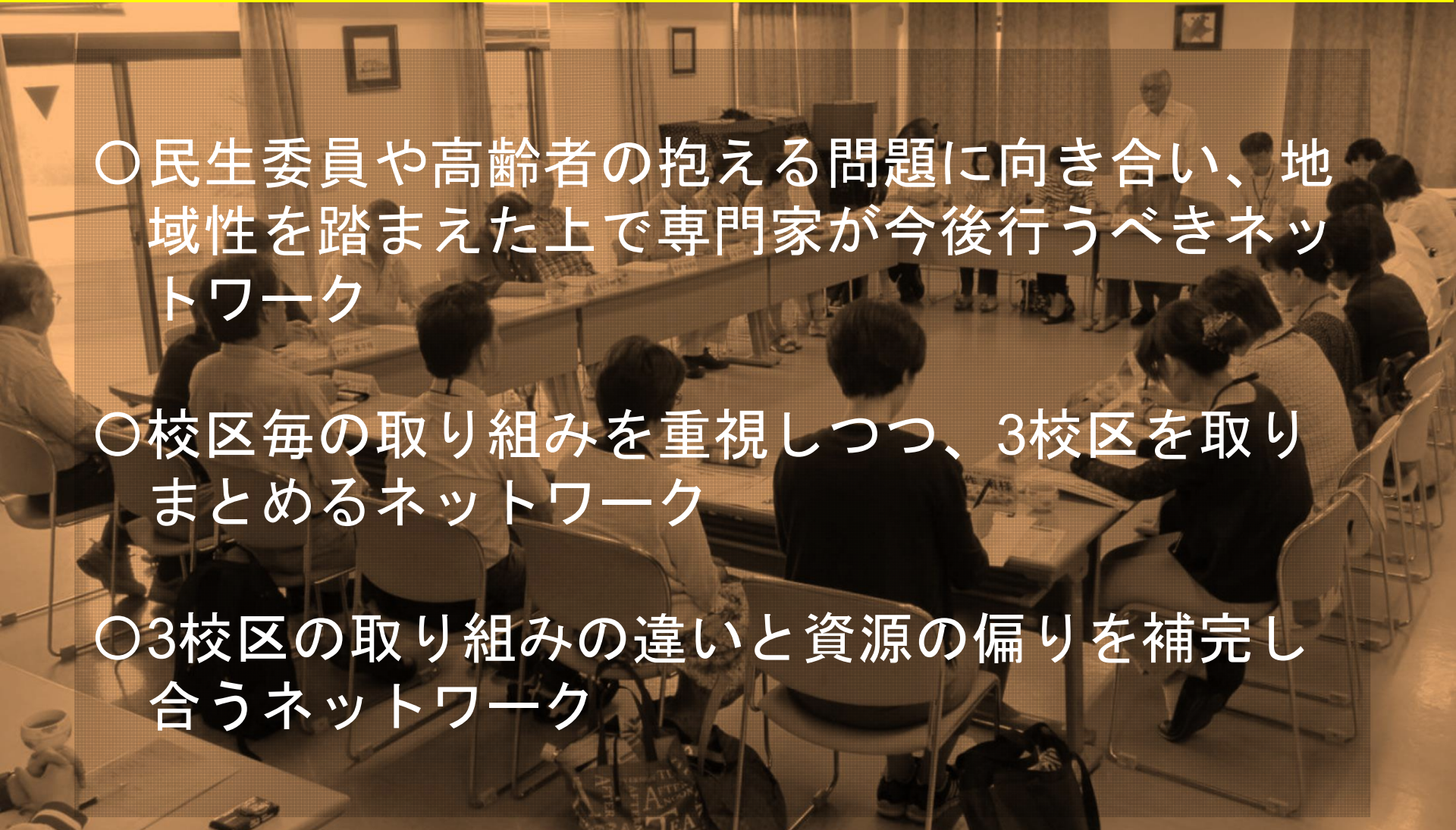
圏域内  
主任ケアマネジャー

熊本市社協

熊本市保健子ども課

地域支え合い“共同”体制づくり推進協議会  
—中学校区レベル(託麻原・帯山・帯山西)—

# 中学校区規模での生活支援・介護予防領域の協議—H26年度 (課題の整理と方針の決定)

- 
- 民生委員や高齢者の抱える問題に向き合い、地域性を踏まえた上で専門家が今後行うべきネットワーク
  - 校区毎の取り組みを重視しつつ、3校区を取りまとめるネットワーク
  - 3校区の取り組みの違いと資源の偏りを補完し合うネットワーク

地域支え合い“共同”体制づくり推進協議会  
—中学校区レベル(託麻原・帯山・帯山西)—

# ささえりあ帯山における「協議体」の設置と「生活支援コーディネーター」の配置

機能	名称	目的・目標	メンバー	時限性
包括業務全体を協議（評価・支援）、 「協議体」の方向性を決定	地域運営協議会	運營業務全般（介護予防ケアマネジメント、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント）に関することを議論	地縁組織（社協、民児協）、圏域医師会、学識経験者、司法関係、行政（高齢介護福祉課、区福祉課、保健子ども課）、市社協、主任介護支援専門員等	なし
中学校区規模での生活支援・介護予防領域の協議（課題の整理と方針の決定）	地域支え合い“共同”体制づくり推進協議会	（中学校区：第2層①）協議体として、資源開発と提供体制を議論。課題により適度な規模（中学校区、小学校区、町内）を設定	地縁組織（社協、民児協、自治協、老連）、行政（保健子ども課）、市社協、広域リハセンター、学識経験者、主任介護支援専門員、老健、PTA、（NPO、民間企業、公益社団法人、ボランティア等）、生活支援コーディネーター等	あり
小学校区規模での生活支援・介護予防領域の協議（対策の決定と事業実施）	地域支え合いネットワーク	（小学校区：第2層②）協議体として小学校区、町内単位の資源開発と提供体制の方針と活動計画を議論	地縁組織からは社協、民児協、自治協、老連の代表者、PTA等。保健子ども課、市社協、主任介護支援専門員、生活支援コーディネーター等	あり
町内単位の具体的な活動の協議	町内支え合いチーム	（町内：第3層）町内の資源開発と提供体制づくり	各校区より生活支援推進員（仮称）を人選しプロジェクトチームとして活動	あり

# 平成26年度「地域支え合い“共同”体制づくり事業」

## 帯山中学校区の課題と社会資源の発掘

## 対応策の検討

## 対応策の決定・実行

### ニーズ調査（アンケート）

- ・ 75歳以上の  
独居高齢者
- ・ 民生委員

### 地域ケア会議の実施

- ・ 「支援拒否、地域トラブル」
- ・ 「家族に暴言、暴力」
- ・ 「最後まで自宅で暮らしたい」
- ・ 「精神疾患をもつ家族」

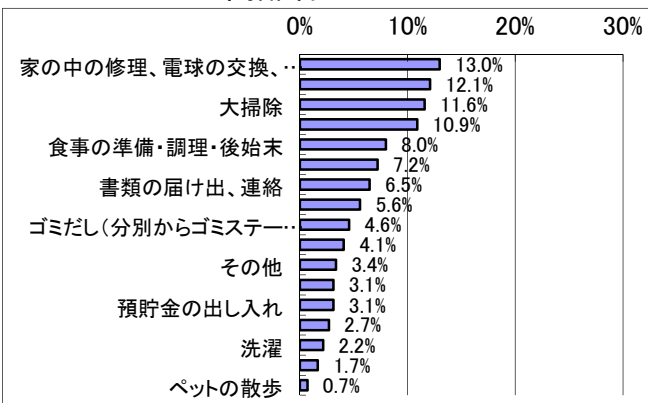


### 医療・介護情報の「見える化」

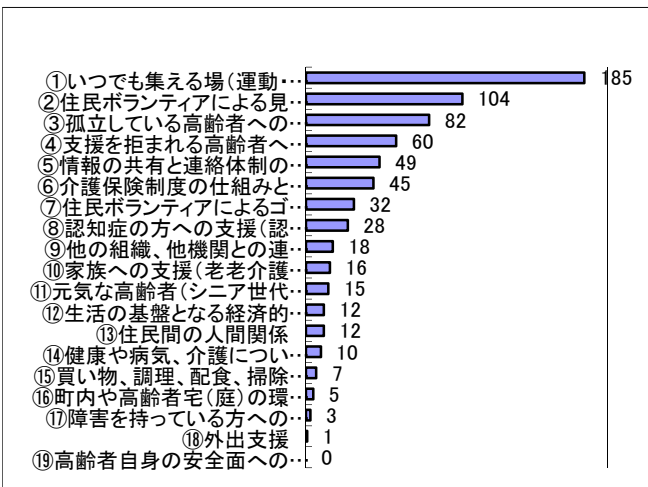


### 課題

#### ■高齢者のニーズ



#### ■支援者の課題（民生委員）



### 社会資源

- ・ 出来る事：①声かけ ②話し相手、相談相手 ③ゴミ出しの手伝い

- 住民参画
  - ・ 座談会
  - ・ 研修会



- 地域支え合い  
ネットワーク会  
議（小学校区毎）



- 地域ケア共同  
推進会議兼学  
習会(中学校区)



- 生活支援  
/介護予防

- 認知症支援

- 医療・  
介護連携

- 人材育成/  
組織化

# 地域のニーズ把握(民生委員さんへの質問紙調査)





# 地域のニーズ把握(75歳以上一人暮らしの方へのアンケート)

## 一人暮らしの高齢者支援ニーズ調査のお願い

この度、校区社会福祉協議会では、一人暮らしの高齢者支援ニーズ調査を行うことにいたしました。調査の内容は「一人暮らし高齢者が、自宅等で安心して生活を続けられるようにするために、何を求めているか」を把握することを目的としています。調査対象は75歳以上の一人暮らしで要介護の認定を受けられていない方々です。

調査結果は、今後増加する一人暮らし高齢者の生活を支援する方策を検討する上で貴重な資料となるものです。調査内容を一通り頂き、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

この調査には、あなたの名前や住所などを書く必要はありません。

(新藤原・帯山・帯山西「地域支え合い」共同 体制づくり推進協議会)

### 問1 性別・年齢

1. 男性      2. 女性      ・ 年齢      歳

### 問2 お住いの校区

1. 新藤原      2. 帯山      3. 帯山西

### 問3 身体状況(0は1つだけ)

1. 要支援の認定を受けている      2. 二次予防事業に参加している・参加していた  
3. 要介護認定申請中      4. 上記1、2、3ではない(元気な高齢者)

### 問4 お住まい(0は1つだけ)

1. 持ち家1戸建て      2. 分譲マンション      3. 借家1戸建て      4. 賃貸マンション・アパート  
5. 市営・県営住宅      6. 高齢者専用住宅などの高齢者向け住宅  
7. 有料老人ホーム・ケアハウス      8. その他( )

問5 くらしや郵便、趣味(旅行など)もかねて相談できる「気軽に集える場(おしゃべりできる)」が地域にあれば、利用したいですか。(0は1つだけ)

1. はい      2. いいえ      3. わからない

問6 お一人での生活で、現在困られていること、もしくは将来困りそうなおことは特に何ですか。(0はいくつでも)

1. 食事の準備・調理・後始末
2. 掃除
3. 洗濯
4. 買い物
5. 外出
6. 通院
7. ゴミだし(分別からゴミステーションまでの運搬)
8. 大掃除
9. 家の中の修理、電球の交換、部屋の模様替え
10. 預貯金の出し入れ
11. 公共料金の支払い
12. 自治会活動
13. 書類の届け出、連絡
14. 定期的な訪問(安否確認、話し相手となる等)
15. ペットの散歩
16. 薬を貼る・塗る
17. その他( )

問7 次のサービスであなたが今後特に受けたいと思うサービスに0を付けてください。(0は5つまで)

1. 栄養バランスの良い食事が定期的に自宅に届くサービス
2. 本人の代わりにゴミをゴミステーションに出すサービス
3. 買い物の代行(本人に代わって買い物をを行う)を受けられるサービス
4. 買い物をしたものが自宅に宅配されるサービス
5. ボランティアが自宅や施設を訪問し、話し相手になること
6. 外出時(通院を除く)の介助を受けられるサービス
7. 食事調理の介助を受けられるサービス
8. 家周りの手入れや家の中の修理を行うサービス(壁紙や電球の交換など)
9. 歩いて行ける場所に集まって食事が摂れるサービス
10. 歩いて行ける場所でお風呂に入れるサービス
11. 歩いて行ける場所での筋力低下を予防するサービスが受けられる
12. その他( )

# 社会資源調査

平成 26 年 9 月 18 日

## 社会資源調査について

### 1、趣旨

『予防給付のうち、訪問介護・通所介護について、市町村が地域の実情に応じた取り組みが出来る介護保険制度の地域支援事業へ移行（29年度末まで）。また、既存の介護事業所による既存のサービスに加えて、NPO、民間企業、ボランティア等地域の多様な主体を活用して、高齢者を支援。高齢者は支え手側に回ることも。』と総合事業と生活支援サービスの充実で概要提示されている。その為、現在の既存団体のサービスや地域の取り組みを



サービスや地域の取り組みを把握し、現在の介護保険利用

### ●インフォーマルサービス

事業所名:

### 2、目的

既存の社会資源を明確にし、介護保険外での代替サ

氏名(事業所名・通称など)	住所	連絡先	提供可能な校区(地域)	詳細内容	情報提供者
例) 保田窪ローソン店員 山下氏 ※コンビニ等支店名までご記入頂ければ助かります。	熊本市中央区保田窪1丁目	241-〇△□×	託麻原校区	利用者が買物に来店された際の声かけや、最近の体調確認など。いつも購入される物品・食料の大体の把握(量や嗜好品など)。立ち寄った際に情報提供など協力して下さい。	ささえりあ帯山 芹川
例) 仕出し屋 〇△の女将さん	熊本市中央区帯山	242-〇△□×	配達範囲の地域であればどこでも	仕出し(弁当)の配達などの際に、利用者宅へ訪問し声かけや体調確認など。	ささえりあ帯山 山下



平成26年12月15日(月)、熊本学園大学社会福祉学部 准教授 黒木氏のコーディネートのもと、3校区の社協長をはじめ各校区4名、圏域内の主任ケアマネジャー、市社協職員、ささえりあ帯山の総勢23名で福岡市へ視察研修に行きました。高齢者茶話会「虹の会」の見学や、第2宅老所よりあいの見学、代表 村瀬氏の講話などたいへん貴重な時間を過ごす事が出来ました。

生活問題は一人ひとり違う。(何が出来るか)気付いたことから始めないと、何も始まらない — 村瀬氏

H26. 12. 15

福岡市

視察研修



▼第2宅老所よりあい  
代表 村瀬氏



# 地域ケア共同推進会議兼学習会 - H27.3.2

## 託麻原



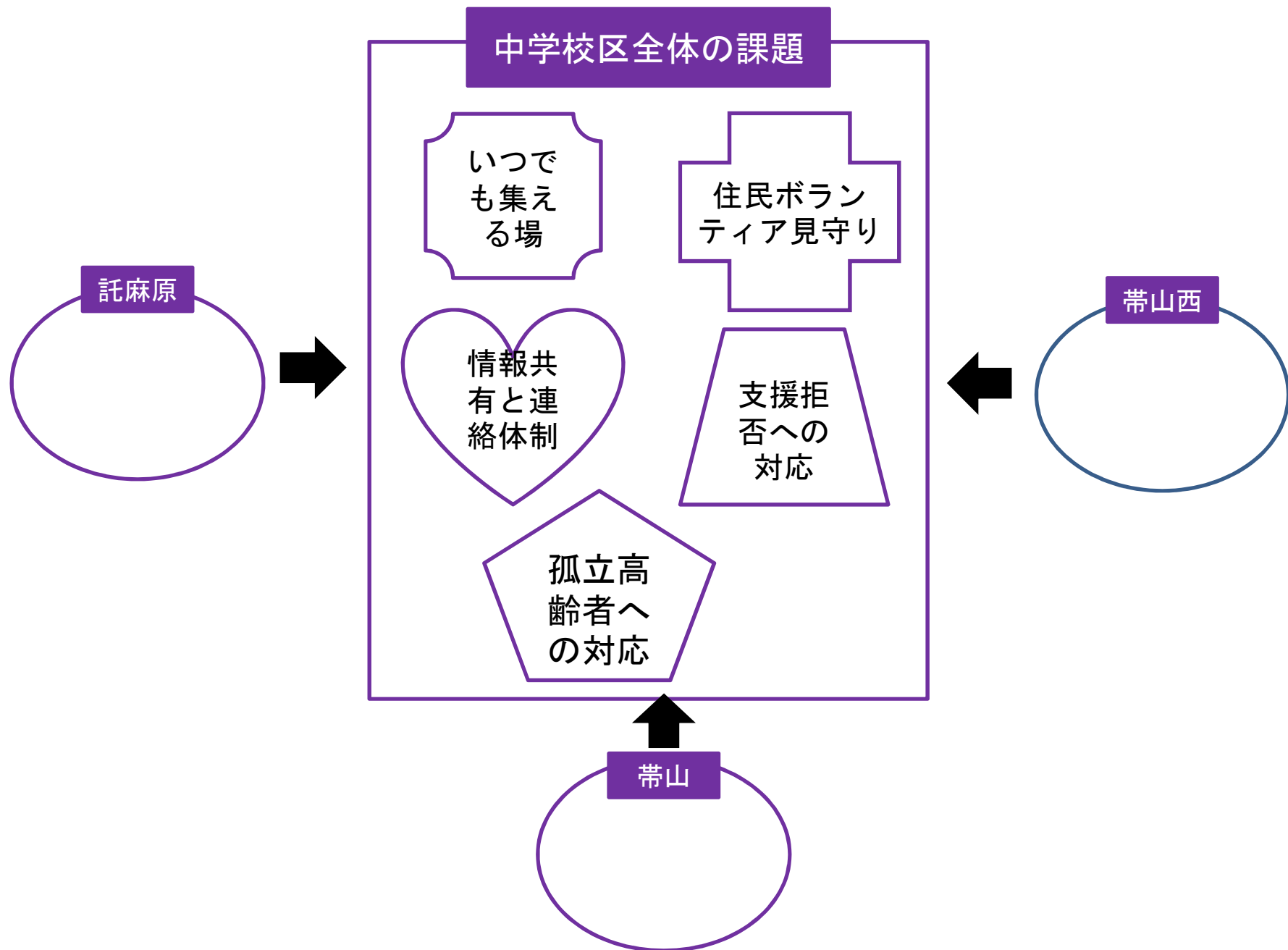
## 帯山西



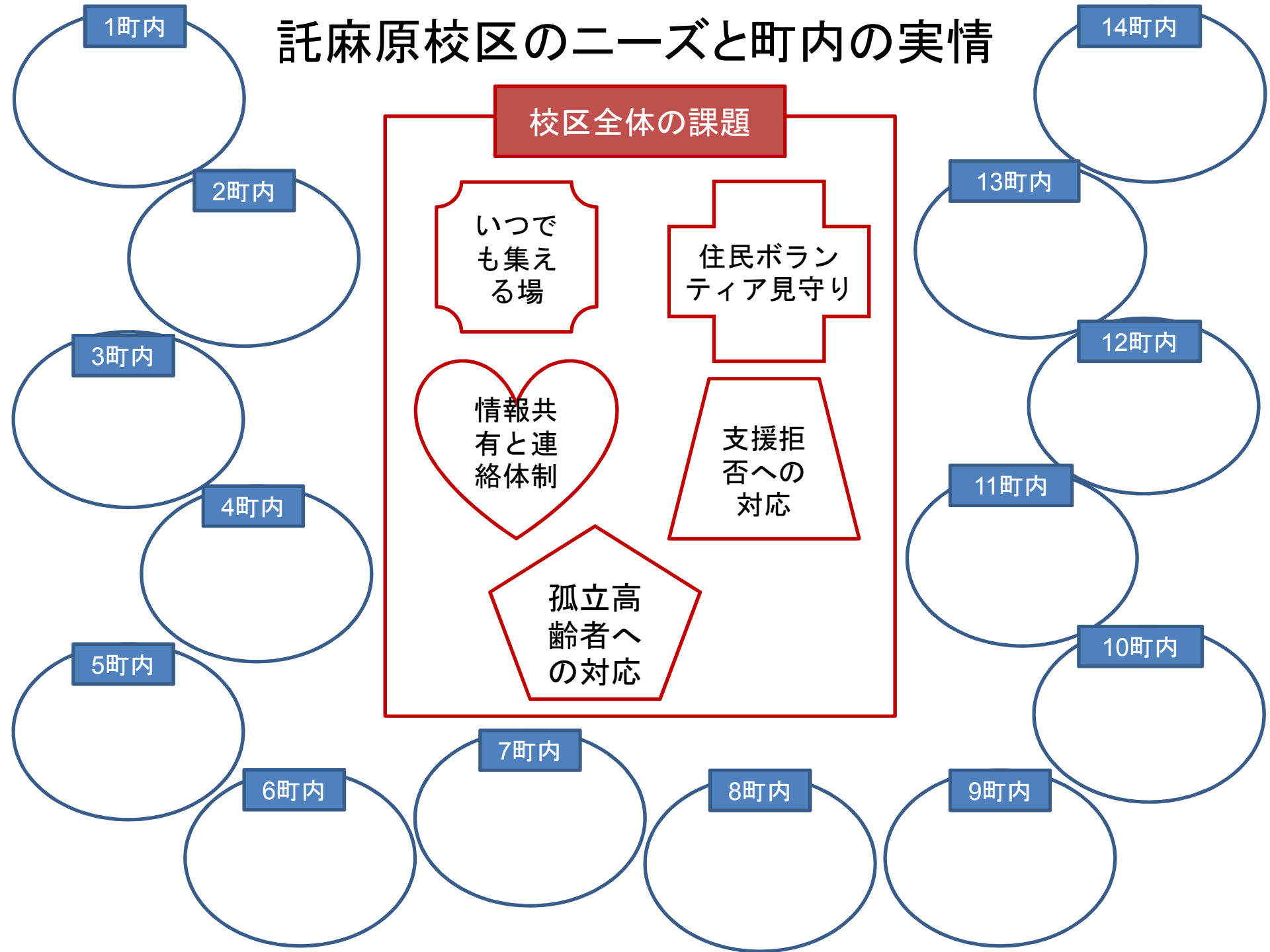
## 帯山



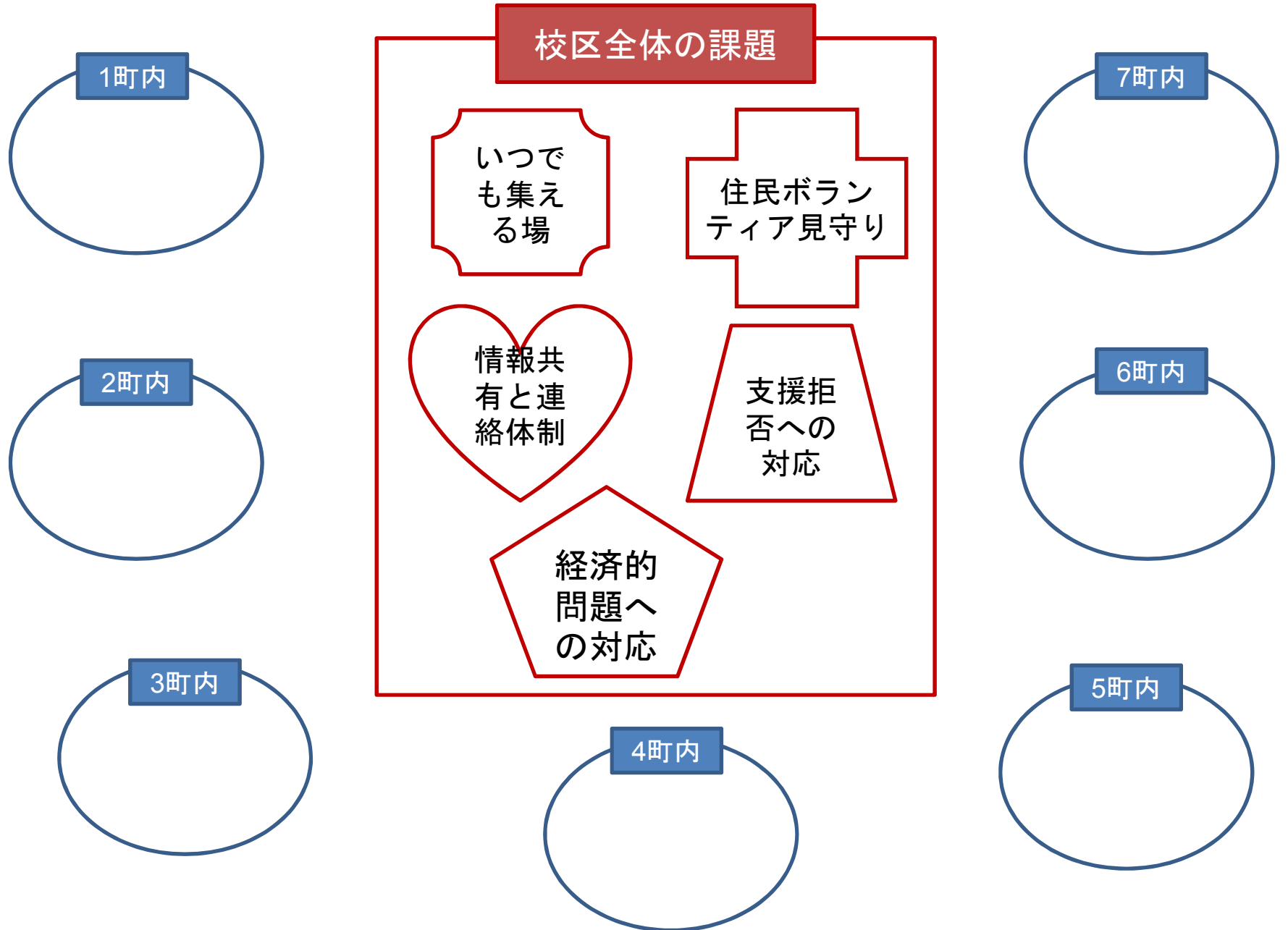
# 帯山中学校区全体と各小学校区のニーズ



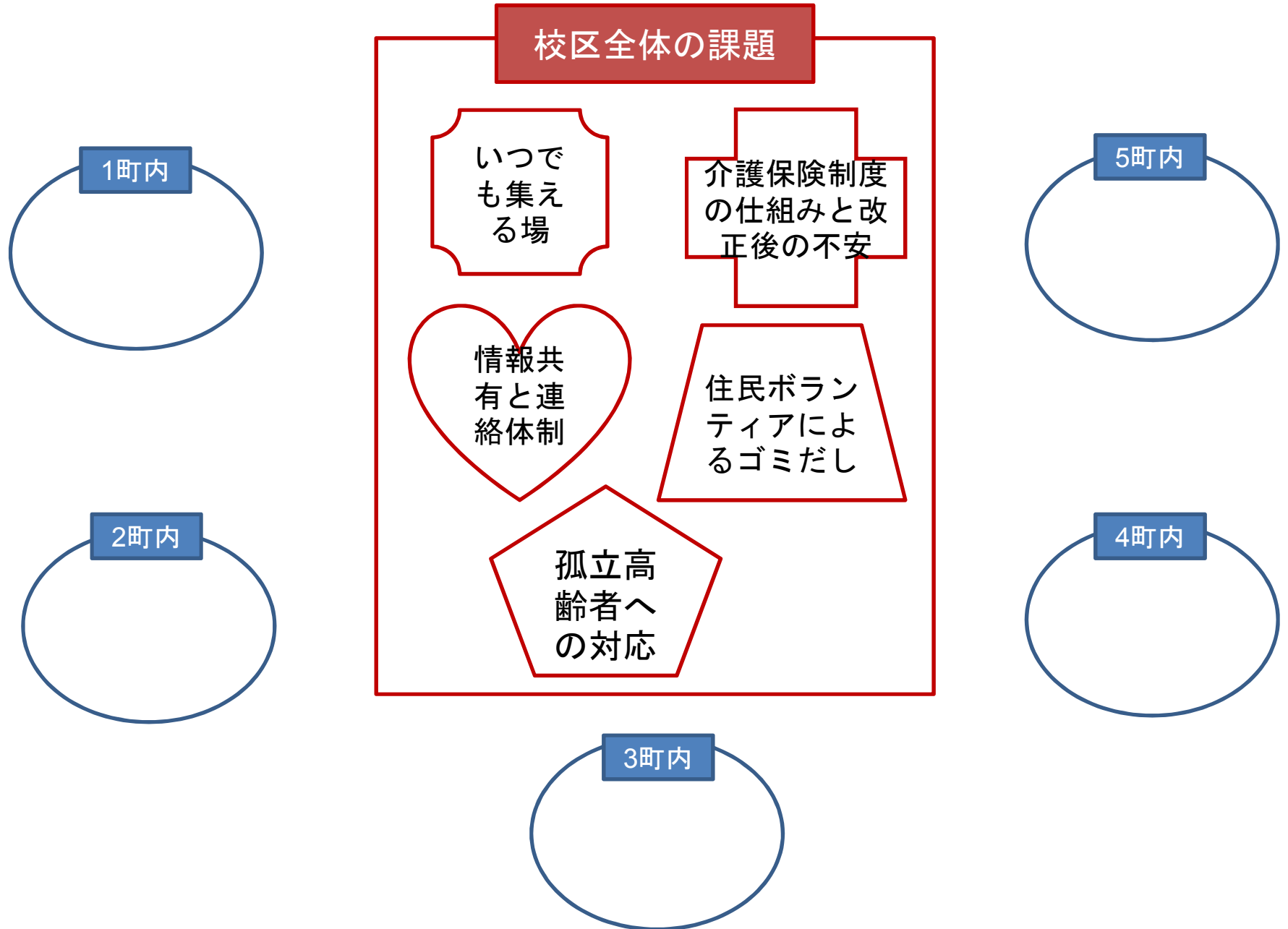
# 託麻原校区のニーズと町内の実情



# 帯山校区のニーズと町内の実情



# 帯山西校区のニーズと町内の実情





# 中学校区規模での協議—H27年度 (課題の整理と方針の決定)



「協議体」≡地域支え合い“共同”体制づくり推進協議会  
—中学校区レベル（託麻原・帯山・帯山西）—

# 既存の地域資源の整理・確認と不足している活動の把握



包括(生活支援コーディネーター)



地域リハビリテーション広域支援センター(OT)



## 帯山校区2町内

人口	人
高齢化率	%
80歳以上	人
認知症者	人

		開催日時
自治会	〇〇会長	
民生委員	〇〇会長・〇〇氏	
老)さつき会	〇〇会長・人数が少なく老連に入っていない。誕生会やカラオケあり	
婦)はなみずき会	37~38名で活発に活動している。〇〇会長	
子供会		

集える場	ゴースロー・帯山小学校会議室・(〇〇の家)
ボランティア	・VO委員が4名いる→協力的。増やしていく予定
交通事情	
スーパーへのアクセス	
意識と意向	<p>“みんなが朗らかでまとまりのある町内”がモットー</p> <p>・自治会から案内があれば人が集まる。 吉田会長(79歳)が10年以上前に自治会長に就任されよくなった。会長は人を育てるのが上手い、まとめ上手。 個人的に健康教室もされている。 ・婦人会</p>
課題	<p>・行事が多い。 「挨拶運動」1回/月(第1月曜)・・・全町内の民生委員で取り組むが、2町内だけは自治会が絡んでいる 「防犯パトロール」2回/月(月・金) 「ふれあい旅行」秋・日帰り・・・役員だけでなく町内に広く回覧で呼びかける ・高齢者のつどいなどに案内しても、決まった人しか参加しない</p>

内容	携帯	ご近所	地縁組織	居場所	有償ボランティア	非営利団体	営利団体の社会貢献活動
見守り		・近所の人おちやのみをして いるが、早速運動をみんな できるようにします。(高野病院 前団地滝さん→米満会長へ 伝えた)	・さつき会 集まって活動し ている。ゲームなど 月に1回 (老人会 河野会長?)	・コミセンが遠い方のために米満会長の姉宅利用し サロン開催予定 7/30~スタート予定「ほがらかサロン」毎月開催予 定			
交流		・マージャンを自宅で月に2 回自宅ですしている。	・来月から元レストランでサロン を開催 ・今後のサロン候補地として、小 学校とゴースロー	<p>・もより会(月2回/おしゃべり・勉強会・松木さん)</p> <p>・中高年の健康教室(毎週木曜日夜19時半から)</p> <p>筋トレ・ストレッチ・ピーチバレ</p> <p>・自きょう術</p> <p>・小学校の校舎でウォーキングとラジオ体操</p> <p>・カラオケ教室 第3水 19時から(ドリーム)</p> <p>・社交ダンス(週2回) 水曜日 10時から2時間</p> <p>・めだかクラブ 毎週金曜日カラオケ</p> <p>・コミセンが遠い方のために米満会長の姉宅利用し サロン開催予定 (7/30~スタート予定「ほがらかサ ロン」毎月開催予定)</p>			
ちょボラ			・お助けたい ・毎月第1日呼び 町内清掃を している。				
家事支援			・資源物回収				
食事	会食		・ふれあい給食会(コミセン)				
	配食						
移動							

# 帯山2町内

## ★パークゴルフ同好会

(毎週○曜日 ○時)

※吉田会長宅に集まり、乗りあわせて行きます。道具は不要です。

※参加自由です

【お問い合わせ先】

〇〇〇 111-111



## ★お助け隊

ちょっとしたボランティアを致します(電球交換など)  
お気軽にご連絡下さい。(基本料金1000円と実費)

【お問い合わせ先】

自治会 〇〇会長 〇〇〇-〇〇〇

## ★資源物回収(毎月第4土曜日 午前8時から10時まで)

※回収場所4か所

資源物を回収します。重たく手運べない時などはご連絡下さい。自治会でとりに伺います。

【お問い合わせ先】

自治会 〇〇〇 〇〇〇-〇〇〇

## ★『ほがからサロン』

※参加自由です。

【お問い合わせ先】

民生委員



## ★早朝からラジオ体操とウォーキング

※参加自由です



## ★健康教室

(毎週木曜日17時半 コミセン開催)

※参加は自由ですが、できればお電話下さい。

【お問い合わせ先】

〇〇〇 111-111

※町内問わず参加可能です。



## ・帯山ふれあい給食会 (毎月第2水曜日)

※参加は自由です



## ★めだかクラブ (カラオケ)

(第3金曜日 19時～)

・場所はゆめマート隣のドリームです

・参加は自由ですが、できればお電話下さい。

【お問い合わせ先】

〇〇〇 111-111

※参加自由です



## ★カラオケ同好会 (第3水曜日 19時～)

・場所はゆめマート隣のドリームです

・参加は自由ですが、できればお電話下さい。

【お問い合わせ先】

〇〇〇 111-111

※参加自由です



# 新規に立ち上がったサロン



# 中学校区規模での協議—H28年度 (課題の整理と方針の決定)



「協議体」≡地域支え合い“共同”体制づくり推進協議会  
—中学校区レベル(託麻原・帯山・帯山西)—

# 中学校区の方向性と小学校区／町内の方針

(校区／町内のこれまでの活動を基盤に、実情に合わせた活動)

## 中・小学校区のニーズ把握

- ・ 75歳独居高齢者のニーズ
- ・ 民生委員の課題

## 町内実情の把握

- ・ 各校区の町内の実情（既存のサロン、健康づくり、生涯学習、ボランティア等を把握）

## 足りない活動の判断

- ・ 各町内／小学校区／中学校区に足りない活動の判断（ニーズと実情の差によって判断）

## 足りない活動の創出

- ・ 既存の活動の強化・充実とネットワーク
- ・ サロン、健康体操教室、生涯学習講座づくり、ボランティア（推進委員）育成と組織化等

平成26年度

平成27年度

平成28年度

しかし . . .







# 4月一熊本地震

# 震災後の復旧、復興に向けての活動





そして 6月

# 住民同士のサロンが災害時に有効に作用

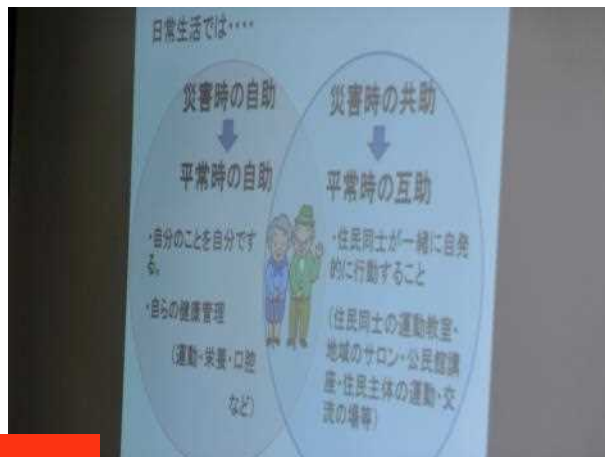
- 災害時に強い地域包括ケアシステムとはー平常時の取り組みと準備



町内住民



生活支援コーディネーター



作業療法士

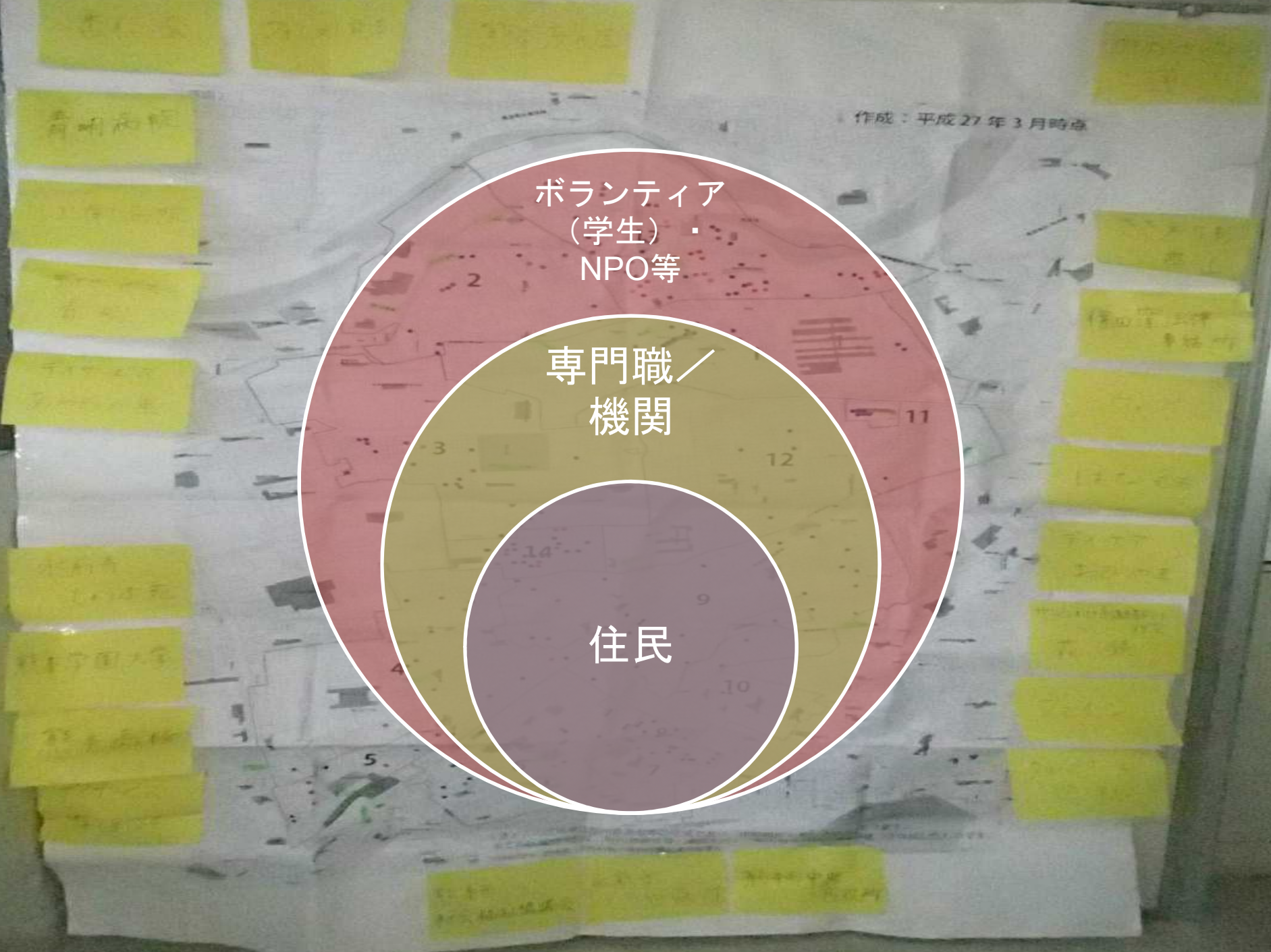


作成：平成27年3月時点

ボランティア  
(学生)・  
NPO等

専門職/  
機関

住民



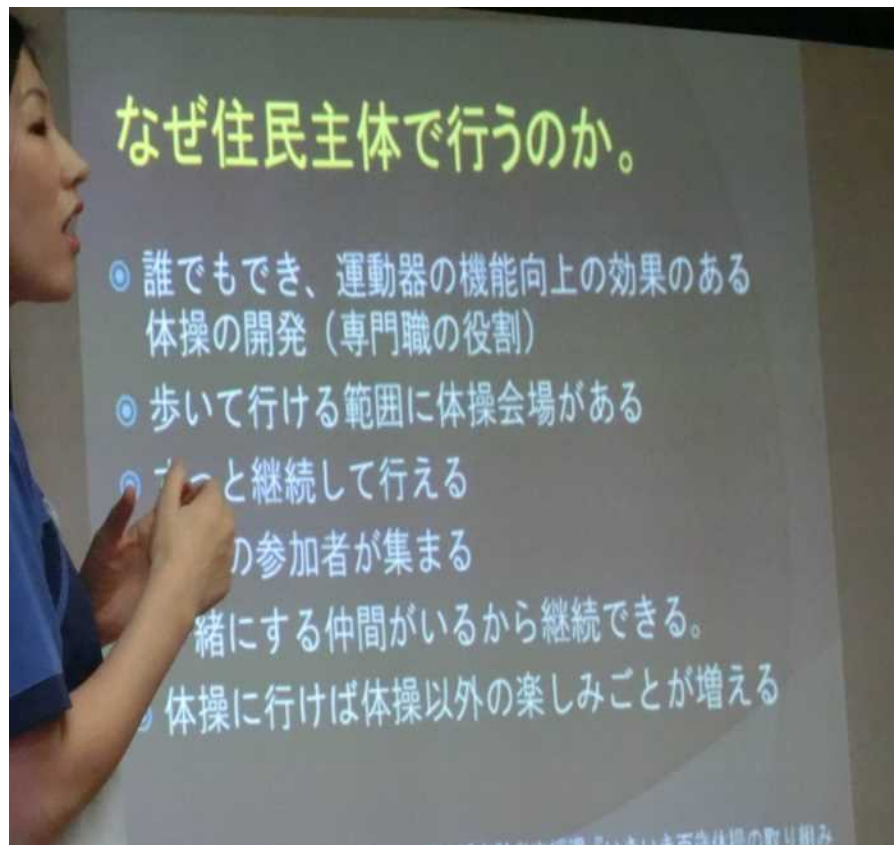
# 住民、関係機関に対する働きかけと資源開発

—多様な活動を身近な地域で



熊本地震と“チャレンジ託麻原”のアウトプット  
—住民・事業所／病院・学生・企業—

# A校区 健康はつらつ教室





# 他圏域介護予防活動視察

“共同と競走”



1町内  
自治会長

13町内  
福祉推進委員

1町内  
民生委員





# A校区(13町内)

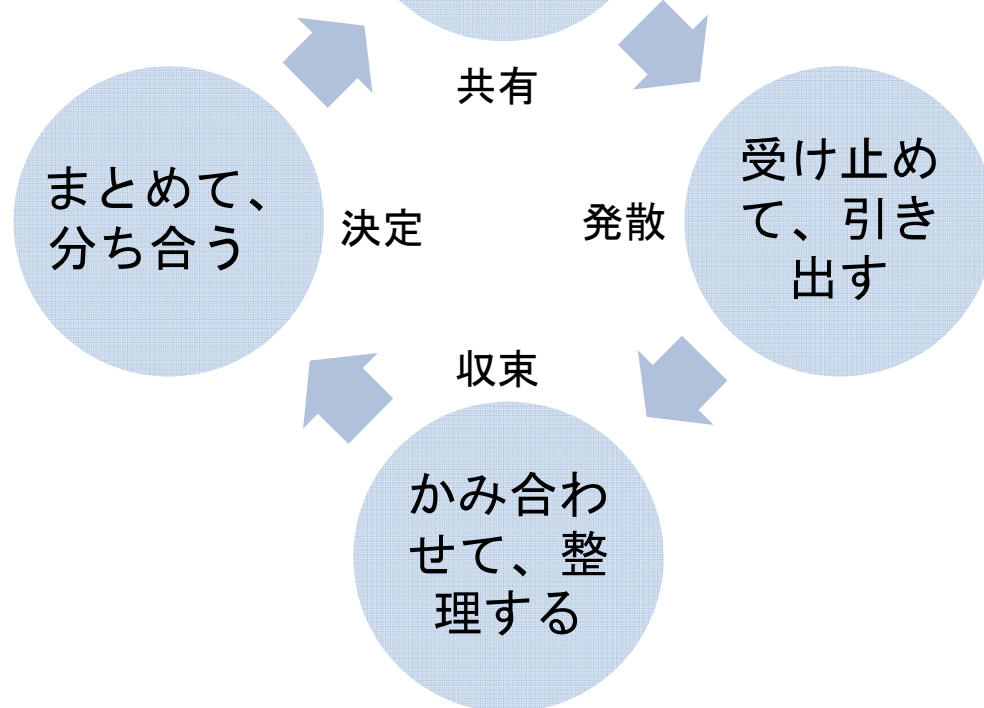
参加



参画



主導



# 住民、関係機関に対する働きかけと資源開発 — 多様な活動を身近な地域で



高齢/障がい（就労）/医療の  
融合サロン



既存の老人会を再編



補助金を活用して先進地視察



「お助け隊」システムづくり



ワークショップ開催（収束型）



ワークショップ開催（拡張型）

（「ほがらかサロン」・「お助け隊」・「健康づくり活動」の人づくり・体制づくり・仕組みづくり）

- ・住民が計画を実施できること
- ・住民が3つの柱に参画できること
- ・住民が他の町内、校区と交流を促進していること
- ・中学生、大学生などの若者の発想を活かせる仕組みづくりとなっていること

# 町内単位での具体的な活動の協議 (資源開発と提供体制づくり)

目的、目指すべき姿等  
情報提供と共有



民児協会長

熊本市社協

自治会副会長

自治会長

自治会副会長

熊本市  
高齢介護福祉課

包括/SC

# お助け隊 = 再結成式



# 間接援助活動のプロセス

- 1、環境の変化をめざす
- 2、影響力のある人を関与させる
- 3、サービスの調整
- 4、プログラムの計画、展開
- 5、組織を変化させる



# 中学校区規模での協議—H29年度 (評価→目標→対応策)

各校区社協長、民児協会・副会長、自治協議会会長、老連会長

生活支援  
コーディネーター

学識経験者

市社協

圏域内  
主任ケアマネジャー

老健

訪問看護ステーション

広域リハ

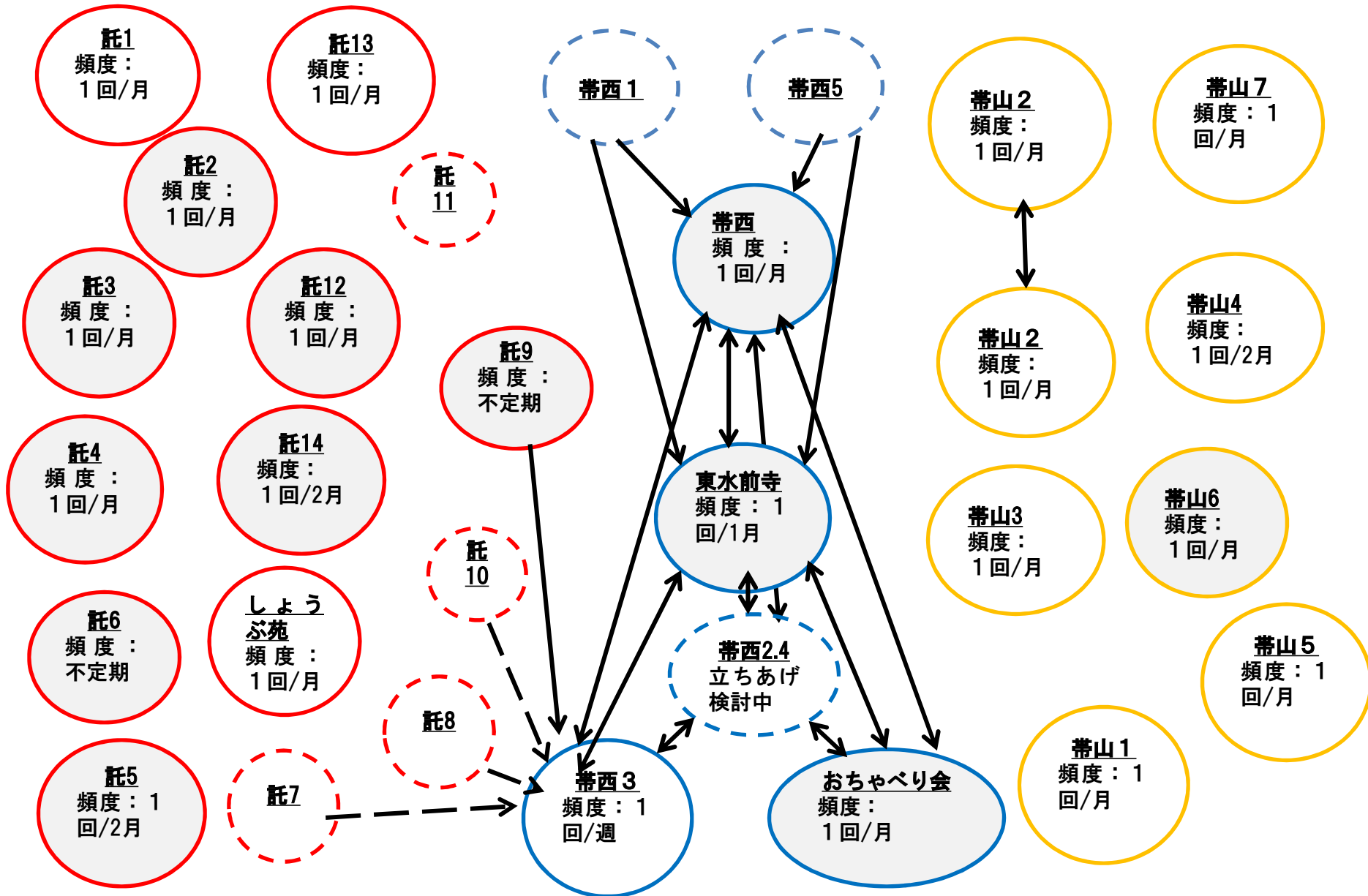
熊本市保健子ども課、  
区福祉課、市高齢介護福祉課

「協議体」≡地域支え合い“共同”体制づくり推進協議会  
—中学校区レベル（託麻原・帯山・帯山西）—



# 集いの場

※グレーは平成25年度以前からの集いの場所



# 新たな共通の目標と戦略

(システムの望ましく現実的に実行可能なこと！)

- ✓ サロン間の交互交流  
と活用(他校区、他町  
内を跨いで)
- ✓ 通い型から訪問型へ  
挑戦
- ✓ “先進地化”を進める
- ✓ 情報を発信する場と  
機会をつくる



2025年を見据えて

# 地域ケア(個別)会議 — 自立支援型編・困難事例対応型編 —



個と地域の一体的支援

# 個と地域の一体的支援

— 一個人とシステムの「成長と変化」をもたらす —



「生きる場」に着目  
環境と人を一体的に捉えそこ  
における相互作用に介入



社会福祉士



生活支援コー  
ディネーター



# 親睦会

繋がりたい。  
語りたいたい。  
じゃあ、飲みに  
こにゃん隊!  
今夜ん隊!

住み慣れた地域（常山中学校区）で自分らしい生活が続けられているように、これからはより地域の  
よる「地域支え合い「共同」体制づくり推進協議会」が立ち上がりました。これからはより地域の  
関係者の方々が「繋がりたい」、「知恵を出し合い」、「支え合い」が必要になると思  
います。つきましては地域を支えている皆様方の更なる親睦が深まりますように、  
「飲みに今夜ん隊」(親睦会)を企画させて頂きました。万障お繰り合わせのうえ、  
ご参加頂きますようお願い申し上げます。



# 課題—生活支援コーディネーターの領域

## 制度・政策レベル

配分

規範的統合

## 組織レベル

社会資源の創出、  
発掘

投入コストの増加

SCの援助者

## 個人レベル

知識と技術の  
習得

環境への繋ぎ